

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市在宅医療・介護連携推進協議会
開 催 日 時	平成27年12月16日（水） 19時30分 ～20時30分
開 催 場 所	市民総合センター2階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：下田委員、小関委員、小山委員、宇津木委員、堀尾委員、佐藤委員、高佐委員、柳川委員、新井委員、田野倉委員、宮沢委員、鹿取委員、渡邊委員、高齢福祉課長、管理グループ主査、管理グループ主任、管理グループ主事 欠席者：五十嵐委員、河西委員 傍聴者：なし
議 題	報告事項1 委員の変更について 報告事項2 平成27年度第1回在宅医療・介護連携推進協議会会議結果について 議 題1 多職種連携のためのICT化について 議 題2 平成27年度多職種連携研修会プログラムについて 議 題3 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	認知症患者に関する連携について、認知症疾患センターでの協議結果をこの協議会で諮ることになった。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	開会 《報告事項1 委員の変更について》 事務局：南部地域包括支援センターの人事異動により、センター長が変更となった。 委 員：質疑なし 《報告事項2 第1回在宅医療介護連携推進協議会会議結果について》 事務局：説明 委 員：質疑なし 《議題1：多職種連携のためのICT化について》 委 員：説明 委 員：平成29年度までは補助金を活用し、タブレット借り上げ等を行う予定だが、この形態ですと行えないので、平成27年度からの3年間は試行ということで見直しが必要である。 委 員：市の事業である見守りネットワークとクラウドシステムを使用しているのだが。 事務局：個人情報管理の観点から難しい。守秘義務のガイドラインが必要である。 委 員：医療と介護の連携について、医療機関とケアマネの関係は密だ

	<p>が、ヘルパーレベルとなると関係が薄くなってしまふ。もっと連携が必要。</p> <p>委員：居宅介護支援事業所や訪問介護等サービスの空き情報が全くない。市が中心となって運用が必要と考えるが、見通しは。</p> <p>事務局：市のホームページリニューアルと合わせて検討するが、リアルタイムで更新というのはかなり難しい。</p> <p>会長：空き情報というのは、日々変化するものだと思うので、リアルタイムでないという意味がないのでは。</p> <p>事務局：可能な限り検討する。</p> <p>《議題2 平成27年度多職種連携研修会プログラムについて》</p> <p>事務局：説明</p> <p>委員：研修内容の「嚥下内視鏡（VE）供覧」とは何をするのか。</p> <p>委員：市が研修用の内視鏡を所有している。せつかくなので実際に見てもらおう予定である。</p> <p>《議題3 その他》</p> <p>事務局：次回は2月17日水曜日を予定している。</p> <p>会長：その他意見等はあるか。</p> <p>委員：認知症疾患センターでは、認知症初期集中支援チーム等の認知症患者に関する連携について、センター長や地域包括支援センター、高齢福祉課長等で協議をしている。協議結果を今後、この協議会で諮らせてほしい。その結果を持ち帰って更なる協議をしていきたいと思っているがどうか。</p> <p>委員：異議なし。</p> <p>終了</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： 0人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">（</p>
--------------------	--

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示（根拠法令等：)</p>
---------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部高齢福祉課（内線：632）</p>
--------------	---------------------------

（日本工業規格A列4番）